I類

論文問題

令和2年度施行 特別区職員 I類採用試験

指示があるまで開いてはいけません。

注意

- 1 論文の課題は2題あり、このうち1題を選択してください。
- 2 論文は解答用紙に記入してください。問題に記入しても採点しません。
- 3 解答時間は1時間20分です。
- 4 字数は1,000字以上1,500字程度です。
- 5 問題の内容に関する質問には、一切お答えしません。
- 6 問題は持ち帰ってください。

特別区人事委員会

論文課題

2 題中 1 題を選択すること。

- 1 近年、これまで人間が行っていた定型業務の自動化や、AI（人工知能）によるビッグデータの分析等、先端技術を活用した業務効率化の取組が急速に進んでいます。一方、これらの取組を推進する上では、コストや情報セキュリティ、人材面等における課題もあるとされており、自治体職員は、こうした変化に対応していかなければなりません。

このような状況を踏まえ、先端技術を活用した区民サービスの向上について、特別区の職員としてどのように取り組むべきか、あなたの考えを論じなさい。

- 2 近年、気候変動の影響等により大規模な水害が発生しています。また、今後高い確率で発生することが予想される首都直下地震は、東京に甚大な被害をもたらすことが想定されています。

そのため、特別区は、地域の課題を的確に把握した上で、区民等と協力しながら、災害に強い安全で安心なまちづくりの取組を積極的に推進していかなければなりません。

このような状況を踏まえ、都市における地域の防災力強化について、特別区の職員としてどのように取り組むべきか、あなたの考えを論じなさい。

※選択した課題の番号を、解答用紙の
課題番号欄に、必ず記入すること。